

日本の 途上国支援

2013年から2015年で
160億ドルの途上国支援



ジャラル溪谷及びシェベレ川流域水資源開発計画策定・
緊急給水プロジェクト：エチオピア

Japan Assists You



太陽光を活用した
グリーンエネルギー導入計画：パラオ

温暖化に負けない世界を目指して

外務省



大洋州地域コミュニティ防災能力
強化プロジェクト：フィジー、ソロモン諸島

日本の気候変動に関する支援の事例

支援の主な内容


気象観測・予測


防災能力強化


農業力強化 / 森林


水資源開発


省エネルギー / 再生可能エネルギー


キャパシティ・ビルディング



①サモア

気象観測・災害対策
向上計画

サモア気象局やファレオロ国際空港等に気象観測機材及び通信設備等を整備。気象災害に対する脆弱性の改善、気候変動予測に必要な観測データの蓄積が可能。





②フィジー、
ソロモン諸島

大洋州地域コミュニティ
防災能力強化プロジェクト

中央レベル、コミュニティレベルの防災能力強化を通じて洪水時に住民が適切に避難できる体制を構築する。





③インドネシア

気候変動対策能力
強化プロジェクト

開発計画における緩和策と適応策の主流化、農業分野および関連セクターにおける適応行動のための能力強化、国家温室効果ガスインベントリ能力強化を通じた包括的な気候変動政策支援。





④エチオピア

ジャラル渓谷及びシェベレ川流域
水資源開発計画策定・緊急給水プロジェクト

給水計画や水資源の利用可能性等の計画を策定する。





⑤チュニジア

南部地下水淡水化計画

地下水塩分濃度の高いチュニジア南部の半乾燥地域の飲料水の確保を図るため、逆浸透膜方式による地下水脱塩化システムの整備を支援。





⑥ナミビア

半乾燥地の水環境保全を目指した
洪水－干ばつ対応農法の提案

洪水や干ばつに対応するイネ・ヒエ混作栽培モデルの導入や検証を支援する。ナミビア北中部の半乾燥地の水資源を保全する農法の開発に貢献する。





⑦カリブ諸国

カリブ災害管理プロジェクト

カリブ災害緊急管理機関（CDEMA）を中心とした防災組織体制の確立を支援。パイロット国で集積されるデータを基に、洪水ハザードマップやコミュニティ防災計画の策定、洪水早期警戒体制の構築等を実施。





⑧バングラデシュ

気象観測・予測能力
向上プロジェクト



⑨モーリシャス

気象レーダー
システム整備計画



⑩セーシェル

離島マイクログリッド開発
マスタープラン
策定プロジェクト



⑪ケニア

バリゴ村落
給水計画



⑫南アフリカ

気候変動予測と
アフリカ南部
における応用



⑬パラオ

太陽光を活用した
クリーンエネルギー
導入計画



⑭モルディブ

マレ島における
クリーンエネルギー
促進計画



⑮ベリーズ

太陽光を活用した
クリーンエネルギー
導入計画



⑯ブータン

ブータンヒマラヤにおける
氷河湖決壊洪水に関する
研究プロジェクト



⑰ブラジル

アマゾンの森林に
おける炭素動態の
広域評価



⑱ペルー

次世代自動車
ノン・プロジェクト無償



⑲フィリピン

気候変動による
自然災害対処能力
向上計画

これまでもこれからも日本は途上国を支援していきます

実績

2012年末まで約3年間の途上国支援
官民合わせて**176億ドル**の支援を実施

今後

2013年からの3年間で
官民合わせて**160億ドル**

- 我が国として温室効果ガスの排出量を2050年までに世界全体で半減、先進国全体で80%削減を目指すという目標を掲げ、攻めの地球温暖化外交戦略 (Actions for Cool Earth -ACE-) の中で、技術革新や技術展開とともに、途上国支援策 (緩和・適応) を表明
- 2013～2015年の3年間で公的資金130億ドル (1兆3,000億円相当)、官民合わせて160億ドル (1兆6,000億円相当)

2013年1月～9月末までで既に60億ドル (公的資金) を実施済み

注: 為替レートは、1ドル=98円として計算。

特徴

①防災・適応分野への支援の充実

災害復旧スタンバイ借款、円借款の優先条件等の新制度を活用。また、2015年に我が国で開催される第3回国連防災世界会議に向けた多国間 (マルチ) での協調により、途上国支援を牽引する。

②脆弱国への配慮

島嶼国をはじめ気候変動の影響に脆弱な国々に対して、防災を我が国支援の重点項目とし、様々なスキームを活用し、きめ細やかな支援を実施。

③官民連携

公的金融手段を活用し、気候変動分野への民間企業の事業参画を促すことで、民間資金の大幅な増大を促進

④低炭素技術の普及促進

優れた競争力を持つ日本の低炭素技術及びインフラシステムの海外展開につなげていくことで、我が国と途上国間のWin-Win関係を構築。

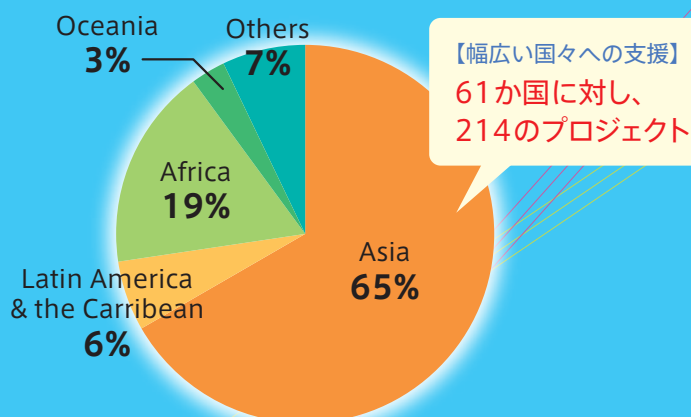
実績 (2013年1月～9月末)

41か国に対し、9億ドルの支援を実施。
うち、2億ドルを無償資金協力により支援。

小島嶼国 (SIDS)、LDCs等の脆弱国に対し、
総額13億ドルの支援を実施。

- 33か国に対し、82のプロジェクトを実施。
- 82のプロジェクトのうち、半数を超える42のプロジェクトは適応分野。
- 支援案件については、脆弱国のニーズにきめ細かく対応し、防災から水、農業、森林まで、多岐にわたり実施。

地域別の支援プロジェクト数



詳細はホームページでご確認ください

【攻めの地球温暖化外交戦略】http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_000286.html

【2012年末までの途上国支援】<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/kiko/pdfs/assistance-to-2012.pdf>